

# San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE

丘の家  
清風  
満開の  
笑顔



REPORT

Vol. **29**  
2021 SPRING

## 賛育会2021年度方針について

賛育会病院に、高本眞一新院長が就任しました。

施設通信 清風園(町田):天皇陛下より御下賜金を拝受いたしました。



社会福祉法人  
賛育会

# 2021年度方針について

社会福祉法人 賛育会  
理事長 小堀 洋志



## 賛育会年間聖句

「恵みの業(わざ)をもたらす種を蒔け、愛の実りを刈り入れよ。新しい土地を耕せ。」  
(旧約聖書 ホセア書10章12節)

2021年度が始まりました。東日本大震災から10年、新型コロナウイルスが世界を席卷して1年、未だにたくさんの人々が困難の中で過ごしています。ワクチン接種が進む中で、私たちの生活がどう変わるのかは分かりませんが、賛育会はこれからも医療と福祉を通して、不安や苦しみの中にいる方々に寄り添い、ともに生きていきたいと願います。

昨年度末には、2019年度に被災した豊野事業所は、予定していた全ての事業を再開することができました。自ら被災しながらも賛育会を支えてくださる地域の皆様、職員、そして物心両面で支えてくださる多くの方々に、あらためて感謝いたします。

### ■賛育会中期3ヵ年計画について

さて、賛育会は2021年度から2023年度までの中期3ヵ年計画を定めました。その目標は、この3年間で、現状の課題を整理し、経営構造・担い手の育成・地域との協働を強め、今まで以上に時代のニーズに応える賛育会になることです。

第一に、最初の年となる今年度の賛育会は、次の経営方針に基づき活動します。まずは災害に備えるとともに、ポストコロナの社会の変化に立ち向かうこと。また、この2年間で受けた経済的な影響から立ち直るためにも、経営体制を強化することです。

第二に、利用者が安心できるサービスを提供し続けら

れるよう、担い手を確保・育成しリスクマネジメントを強化すること。また、地域の課題に地域の皆様と共に取り組み、その働きを社会に伝えて、賛育会の支援者の輪を広げていくことです。

第三は、新院長を迎えた賛育会病院の将来構想と具体的な計画策定です。豊野事業所の被災と復興、新型コロナウイルス感染症により、賛育会は多額の資金が必要となり、賛育会病院の将来計画も大きな見直しが必要となりました。職員と地域の声を聴きながら、「ともに生きる」賛育会病院のあるべき姿を明らかにし、実行可能で具体的な計画を定めたいと思います。

### ■希望をもって歩む1年へ

少子高齢化、災害や貧困や孤独、社会を支える制度の限界など、世の中の混迷は深まるばかりです。しかし、103年前の日本も多くの命が様々な危機に瀕していました。その命を何とか助けたい、その一心で、賛育会は生まれ、今日に至っています。

まだ新型コロナウイルスの影響が続き、不安や困難は尽きないかもしれません。しかし、昨年度を乗り越えて新しい今年度を迎えられたように、みんなで協力しあいながら、希望をもって歩む一年になることを願っています。どうぞよろしくお願いいたします。



# 賛育会病院に、高本眞一新院長が就任しました。



これまで賛育会病院の院長を務めてまいりました鈴木正明が2021年3月末をもって退任し、4月1日より高本眞一が新院長として就任いたしました。



## 就任のごあいさつ 「患者さんとともに生きる」

賛育会病院 院長 高本 眞一

今年は賛育会病院が設立されてから103年経ったところで、創設に努力した東大YMCAのメンバーだった河田 茂氏の志を大事にして、東大YMCA寮に50年前に在していました私が院長となることになりました。河田 茂氏はキリスト教の隣人愛に基づき、婦人と子供のための救療機関の設立に全力を尽くし、日本初の庶民向け産院として賛育会病院を発展させてきました。その後、関東大震災、第2次世界大戦などにより、経営も困難になったこともありましたが、産婦人科、小児科、内科、外科、整形外科、緩和ケア科、耳鼻科、麻酔科が主に墨田区中心の地域医療として地域の人達の健康を保つために全力を尽くすことを大事にしてきました。

私自身は医療において患者さんの生命を大切にするために「患者さんとともに生きる」精神で働くことが大切だと感じ

ています。医師は医療の世界で絶対的な能力を持っているのではなく、種々の病態を身にしている患者さんの生命の力を最大限働かすことができるように、患者さんとともに生きることが大切だと感じ、学会でもそのことの大切さを皆が理解できるように頑張ってきました。医療においてはテクニカルスキルだけでなく、このようなノンテクニカルスキルが大事ですので、賛育会病院全体が患者さんとともに生きてゆくよう頑張りたいと思っています。

生命の大切さを皆様と同様にともに持ち続けて、それぞれより良い人生が迎えられるように、一緒に頑張りたいと思っています。



## 退任のごあいさつ

鈴木 正明

本年3月末をもって院長を退任致しました。2012年2月院長を拝命してから9年間、賛育会病院のすべての職員の皆様の支えがあった年月でした。思えば当院に赴任したのが2000年10月ですから、当院での医師生活は20年、副院長、院長、賛育会理事に就任して経営に参画してから15年の歳月でした。この間日本の医療制度は大きく変化し、その影響を受けて当院もいろいろと改革し、病院職員の知恵と労力により時代の大波を何とか切り抜けることができました。

職員の皆さんには、これからも地域住民の皆様にあわれ、信頼される病院を目指し頑張っていたきたい。

私は経営の第一線からは引退しましたが、今後も少しでも賛育会病院の力になって地域医療の充実に貢献したいと念願し、元の臨床医に立ち返り体力と知力が続く限り診療を続けていきたいと存じます。最後になりましたが、皆様のご健康とご健勝をお祈りして、退任の挨拶とさせていただきます。



## 施設 通信

清風園(町田)

## 天皇陛下より御下賜金を 拝受いたしました。

清風園は、2月23日の天皇誕生日に際しての御下賜金を拝受いたしました。1964年7月に東京都で2番目の特別養護老人ホームとして開設した清風園は、法人創設以来の精神である「隣人愛」の働きを実践し、56年にわたる高齢者福祉への取り組みや、近年のこども食堂の開設を通じて地域との連携を深めた活動が評価され東京都からの推薦

を受け、御下賜金拝受に相応しい施設であると認められ選定されました。

※御下賜金(ごかしきん)とは、天皇誕生日に際し、天皇陛下より民間社会福祉事業御奨励のため、毎年社会福祉事業に係る優良民間社会福祉施設・団体に対して、金一封を下賜されるものです。

2020年度は、全国67の施設や団体に御下賜金が贈られています。



# INFORMATION

## 創立103周年記念礼拝・式典を オンラインで行いました

賛育会創立103周年記念礼拝・式典が2021年3月13日に開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止となりましたが、今年は初めて会場と各施設、関係者をオンラインでつないでの開催となりました。

記念礼拝では、酒井牧師(日本基督教団東駒形教会・賛育会評議員)が、祈禱とともに「3年目にすること」と題して「先人たちが築いてきた歴史の上に私たちは生きている。歴史は重なっていくものであり、先人たちが作った土台の上に、良いものを積み重ねていく使命が今の私たちにある」とメッセージをくださいました。

永年勤続表彰では、30年表彰者3名、20年表彰者16名、10年表彰者30名へ表彰が行われました。永年勤続者代表の法人事務局の吉田美香さんは謝辞の中で、先輩方の指導への感謝とともに、介護の原点を忘れず、誰のために何ができるのかを考えながら、賛育会クレドにあるすべての生命を大切にすること、互いを尊重し支え合うこと、地域と共に生きていくことを基本とし、諸先輩方の教えを次世代に引き継ぐことでご恩に報いたいと決意を述べられました。

式典のフィナーレには、ヴァイオリニストの大谷康子さんの記念演奏会が開かれました。くしくも今回のメイン会場の賛育会病院3階講義室は、コロナ禍以前の2019年賛育会チャリティーコンサートでの「いのち」の合唱のため、賛育会合唱団に大谷さんをご指導くださった場でもあり、とても感慨深い

ものがありました。

ボランティアとして特別に演奏してくださった大谷さんは、コロナ禍であらためて感じる命の大切さ、医療・福祉従事者への感謝とエール。そして、コロナ禍でソーシャルディスタンスが日常となった今、心の距離はもっと近づくことができるというお話と共に素敵な演奏で、式典は幕を閉じました。

皆が集まって式典を開くことは難しい状況でしたが、このオンラインでの式典を通じて、先人たちの想いに触れ改めて私たちの想いを一つにし、これからも高齢者、子どもたち、患者の皆様のために良き業をなしていくことを心に強く感じさせられました。



記念礼拝での酒井牧師



永年勤続表彰での吉田美香さんの謝辞



大谷康子さんの記念演奏会



演奏後の花束贈呈

## 主要人事

### 《施設長等人事》

#### 〈退職〉

2021年3月31日付

賛育会病院 院長 鈴木 正明 定年退職

東海清風園 施設長 兼 東海診療所 事務長 山本 雅美 依願退職

法人事務局 財務部長 松田 実 契約期間満了

2021年4月30日付

たちばなホーム 施設長 松村 隆 定年退職

#### 〈任用〉

2021年2月1日付

ゆたかの 事務長 森 佐知子

賛育会クリニック 事務長 兼 介護医療院とよの 事務長 兼務とする

2021年4月1日付

高本 眞一 賛育会病院 院長とする

東海清風園 管理部長 兼 相良清風園 管理部長 生井 知三

東海清風園 施設長 兼 東海診療所 事務長とする

法人事務局 総務部長 藤田 寿彦

法人事務局 財務部長兼務とする

2021年5月1日付

法人事務局付課長 吉田 美香

たちばなホーム 施設長とする

## 編集後記

5月で広報担当になって1年。この号をもって広報担当から外れます。初めての経験で失敗もりましたが、学ぶことも多く楽しい1年間でした。これからも広報誌を通じて多くの皆様が賛育会を応援してくれますように。(Y.M.)

# San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

San-iku通信 Vol.29 2021年 春号

編集:賛育会法人事務局

発行人:中村 基信

発行所:社会福祉法人 賛育会

印刷:(有)エースプリント (20210506-7000)

社会福祉法人 賛育会

〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8

URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ

TEL:03-3622-7614

